

# 育成会 かわさき



知的障害者親の会 会報 No. 182

2016・8・1

## 会長のあいさつ

川崎市育成会手をむすぶ親の会

会長 結城 眞知子

会員の皆様には、日頃より、「川崎市育成会手をむすぶ親の会」の活動にご協力いただきありがとうございます。

当会は、『障害があっても、安心して暮らせる共生社会の実現』をめざし、日々、活動しています。毎年、行政や議会に知的障害児者の親の会の立場から会員の皆様の意見や要望の提出と意見交換を行っていますが、これも、その一つと言えるのではないかと考えています。

現在、当会には、大きな柱となる二つの要望があります。その一つが、障害児者本人の高齢化とその家族の高齢化に向けた要望です。いつまでも親子で自宅に暮らし続けたい、親亡きあとも支援を受けながら自宅で暮らしたい、グループホームで暮らしたい、親亡きあとは入所施設で…と、会員の皆様の将来像は様々です。そのひとつひとつの思いを叶え、その時々に必要な支援の在り方を丁寧に検証して、関係機関と連携し、思いを実現する役目を果たせたらと考えています。

もう一つは、通所先の時間延長、日中一時預かりの充実や短期入所事業所の増設、ヘルパーさんの増員など、家族支援に対する要望です。これらは、障害を持つ人がいる家族の生活を充実させるだけでなく、障害を持つ人達の自立のためにも必要な支援だと思います。

この二つをはじめとする様々な課題に取り組み、会員の皆様の声を形にして共生社会を実現するには、役員だけでは限界があります。知恵を出し合い、力を合わせて一歩ずつ前進していきたいと思っておりますので、お力添えをよろしくお願いいたします。

また、平成30年に開催される「手をつなぐ関東甲信越大会・川崎大会」は、1日開催、二つの分科会と本人部会という内容で決定いたしました。今年度は、具体的な準備に取りかかります。川崎大会を成功させるために、会員の皆様をはじめ、行政や関係機関のバックアップをこの場をお借りしてお願いいたします。

今年度も、「会員による会員のための親の会」であり続けられますよう、より一層のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。



## ホームページ

「川崎市育成会手をむすぶ親の会」で、検索してください。



川崎市育成会 手をむすぶ親の会  
(知的障害者親の会)



## 川崎市育成会手をむすぶ親の会第4回総会（平成28年度定時総会）



6月2日（木） 10時30分より、地域福祉施設「ちどり」第1会議室で開催しました。各支部から選任された代議員と立候補された代議員1名、役員で行いました。各支部長、各委員会委員長はオブザーバーとして参加しました。

代議員数33名中、出席31名、書面表決1、委任状1で総会が成立することが確認されました。議長に、宮澤明副会長が選出され、議事について審議を行いました。

### 《議事》

- 第1号議案 平成27年度事業活動報告（案）
- 第2号議案 平成27年度決算報告（案）・会計監査報告
- 第3号議案 平成28年度事業活動計画（案）
- 第4号議案 平成28年度予算（案）

議事につきましては代議員全員の挙手により、全て可決承認されました。

詳しい内容は各支部代議員におたずね下さい。

三役役員と監査人、各支部長、各委員会委員長の紹介を行い、総会は終了しました。

（美和 とよみ）

---

## 平成28年度要望事項（平成29年度予算要望）

川崎市育成会手をむすぶ親の会として、障害者施策要望を8月に川崎市に提出します。

1. 特別支援学校卒業生在宅ゼロ施策の継続
2. 障害者の高齢化と親の高齢化に向けた取組み
  - (1) 南部地域入所施設の早期建設
  - (2) グループホームの拡充
  - (3) 短期入所（ショートステイ）施設の拡充
  - (4) 特別養護老人ホームにおける高齢障害者の受入体制の拡充
  - (5) 法人成年後見制度の充実
3. 地域生活を支える保健、医療、福祉サービスの拡充
  - (1) 重度障害者医療費助成の維持など
  - (2) 地域で核となる地域生活支援の拠点施設の建設
  - (3) セルフプランが安易に用いられないよう相談支援体制の充実
  - (4) 地域包括ケアシステムにおける知的障害のある人への支援
  - (5) ピアサポーターとしての障害者相談員の養成
  - (6) 家族を支える生活介護事業所の延長対応、日中一時支援、ヘルパー派遣の充実
  - (7) 障害者差別解消支援地域協議会の設置
4. 災害時一次避難場所の運営の再検討
5. 障害者理解を深めるための啓発の積極的な推進
6. 障害者の所得保障（年金の保障、就労支援制度の拡充） ほか



### 緑陰訓練のお知らせ

実施日：平成28年10月1日（土）

行先：群馬 こんにやくパーク&リンゴ狩り（原田農園）

詳しくは、配布されるチラシをご覧ください。

## 平成28年 川崎市心身障害児者福祉大会



6月25日(土)13時より川崎市総合自治会館にて川崎市心身障害児者福祉大会が開催されました。「障害のある人もない人も共に生きる川崎の街に」を大会スローガンに、第1部は式典、第2部は、川崎市健康福祉局長 成田 哲夫 氏、川崎市百合丘障害者センター所長 森江 信子 氏をお招きして、講演会を行いました。

### 「大会宣言」

本大会のスローガンである“障害のある人もない人も共に生きる川崎の街に”を実現するため、ここに集う方々とともに考え、より一層の努力をしていくことを誓い、次の事項を決議します。

#### 1. 地域の中で安心、安全に暮らせる環境作りをめざす

「誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らして続けることができる地域の実現」と、川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンの基本理念では謳っています。この理念を踏まえ策定された「第4次かわさきノーマライゼーションプラン」で位置づけられている、ライフステージに応じた支援体制の構築、短期入所の拡充、寄り添う相談ができる体制の充実、親亡き後も安心して暮らせる施設の充実、そして障害特性を理解し支援できる人材の育成が着実に実現されることを望みます。

#### 2. 「あなたの、私の、隣で暮らしてもあたりまえ」となるよう、さらに啓発を進める

障害者差別解消法が本年4月にスタートしました。

「合理的配慮」を行わないことも差別となりうるということが明示されています。

しかし、法律ができては広く市民や事業者などの方々に知っていただかなくては意味がありません。

災害時の対応も、安心して避難できるには、地域の方々の理解が不可欠です。

熊本地震でも避難所へ行くことをあきらめざるを得ない人たちがいました。いま一度、避難所運営に関し障害者理解を含めた検討が必要です。

親の会としても、障害者理解と適切な支援について啓発活動を進めてまいりますので、より一層の啓発活動の推進を望みます。

平成28年6月25日

平成28年川崎市心身障害児者福祉大会実行委員会

## 市長祝辞

川崎市長 福田 紀彦



皆様こんにちは。ご紹介をいただきました市長の福田でございます。

今日は、平成28年川崎市心身障害児者福祉大会が、このように皆様お集りの中で開催されましたことを心よりお喜び申し上げます。

主催者であります「川崎市育成会手をむすぶ親の会」、「川崎市自閉症協会」、「川崎市肢体不自由児者父母の会連合会」の3つの親の会におかれましては、実行委員会として長きにわたりこの福祉大会を主催され、また障害児者の社会参加の促進をはじめ、障害の理解を広めるための啓発活動等にご尽力され、川崎市の障害福祉に多大なる貢献をいただいておりますことに、厚く御礼と心から感謝を申し上げます。

さて、本年4月に、国におきまして「障害者差別解消法」が施行されたところでございますが、この法律では、都道府県や市町村などの地方自治体は、差別の解消の推進に関して、職員が適切に対応するために必要な要領を定めるよう努めるものとされています。本市におきましても、国の基本方針等を踏まえ、窓口などの職員に向けた対応要領を本年4月に策定したところでございます。

この対応要領におきましては、障害を理由とした不当な差別を禁止するとともに、合理的な配慮の提供を服務規律として定め、これらに関する具体的な事例等につきましても、「留意事項」として定めるとともに、相談及び研修体制を整え、本市の状況に即した実効性のある取組みとなるよう努めているところでございます。

また、同じく本年4月に、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向け、「かわさきパラムーブメント推進ビジョン」を策定したところでございます。

「かわさきパラムーブメント推進ビジョン」への取組みにおきましては、パラリンピックを応援することにとどまらず、障害のある人が生き生きと暮らす上での障壁となっている、私たちの意識や社会環境のバリアを取り除くことや、新しい技術で少子高齢化等の課題に立ち向かうことを「ムーブメント」として、様々な分野で展開していくことを目指しているところでございます。

これらの施策の推進にあたりましては、ボランティアの方々や民間団体、企業等様々な方との連携が大変重要でございますので、今後におきましても引き続き皆様方の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、福祉大会のさらなるご発展、そして本日ご参会の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、お祝いの挨拶とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございました。





## 福祉大会実行委員長あいさつ

川崎市手をむすぶ親の会会長 結城 眞知子



本日は、ご多忙のところ、福田市長をはじめ、石田市議会議員、佐藤社会福祉協議会会長ほか、多数のご来賓の皆様にご臨席いただき、誠にありがとうございます。

さて、障害者福祉では、「障害者総合支援法」施行3年後の見直しがなされました。「生活」と「就労」に対する支援の充実や高齢になった障害のある人が介護保険サービスを利用できる見直しなどが盛り込まれた一方、意思疎通支援などは、今後も継続的に検討されることになりました。私たちは、障害者が自ら望む地域生活を送ることができるよう、障害に応じた支援を整えると共に障害特性を反映させた意思決定支援など一層の支援の充実や高齢になった障害のある人がニーズに即したサービスを円滑に受けられるように、更に働きかけて行くことが大事だと思っています。

また、4月より「障害者差別解消法」が施行されました。まずは、多くの方々へ周知を図り、この法律をどのように生かし育てていくのかを、それぞれの立場から一緒に考えていくことが大事だと思っています。そのためにも、障害者差別解消支援地域協議会の設置を望みます。

2020年に開催される東京パラリンピックでは、川崎市が積極的に協力すると伺っています。このことが、市民の皆様には障害を理解していただくきっかけになると期待しています。

そして、現在、気がかりなのは震災時の対応です。いつ起こるかわからない大震災から、障害児者の命を守り、安心して避難所で過ごすことができるのか、心配は尽きません。避難所での高齢者や障害者への対応については、地域防災計画に位置づけられており、運営マニュアルもあるとのこと。実際の災害時に活かされるよう、願ってやみません。

結びになりますが、本日のスローガンにあります「障害のある人もない人も共に生きる川崎の街に」が、川崎の街のすみずみに定着し、親亡きあとも安心して暮らせるように、私たちも努力してまいりますので、行政、市議会議員の皆様、社協の皆様、そしてご参会の皆様に、障害児者の生きる権利、環境改善へのお力添えを心から願申し上げます。

## 第2部 講演会



「地域包括ケアシステム構築に向けた取組」というテーマで、川崎市健康福祉局長 成田哲夫氏、川崎市百合丘障害者センター所長 森江信子氏、お二方の講演がありました。

急速に進む少子高齢化の社会において、「地域包括ケアシステム」の必要性が高まっています。「地域包括ケアシステム」とは、「誰もが住み慣れた場所で、安心して暮らし続けることができる地域を実現」していくことです。そのためには、自助（一人ひとりの取り組み）、互助（近隣住民やボランティア団体などによる助け合い）、共助（介護保険や医療保険）、公助（社会福祉などの行政サービス）、それぞれを私たちが意識して、できることから始めていくことが大切だと思います。一人の動きは小さくても、地域全体に広がれば大きなうねりとなり、「一生住み続けた最幸のまち川崎」を実現できるよう望みます。



（高山 君子）

## 第4回 権利擁護セミナー（大田区）に参加して

4月27日に第4回権利擁護セミナーに参加しましたので、報告いたします。

### 【講演】

「障害者差別解消法 その1 ～はじまりました差別解消法～」

講師 毎日新聞論説委員 野澤 和弘氏



野澤さんご自身の体験や様々な事例を交えて、合理的配慮について分かりやすくお話してくださいました。効率的に便利になっている社会において、そこに乗り切れない少数派の人たちに合理的配慮をすることで、案外普通の人たちにも恩恵があるという事例も少なくないとのこと。みんなが一緒になって優しい社会が作れたら良いな…と心から思いました。そのために、たくさんの人にこの法律について、障害者のことについて知ってもらうことが大切であると感じました。

また、川崎市にも苦情や紛争の解決をするための障害者差別解消支援地域協議会が設けられるよう、行政に働きかけていかななくてはならないと思いました。（梅田 順子）



### 【シンポジウム】

「障害者差別解消法 その2 ～日常生活での活用を考えよう～」

《教育》 東京都立町田の丘学園進路指導部主幹教諭

大沼 健司氏

教育の現場での合理的配慮のイメージは、支援級か特別支援学校か、または、学年によっても違うが、リスニング室（保健室などの場合も）を用意して、副校長やコーディネーターが対応するなどしている。

《就労》 障害者就業・生活支援センターWEL' S TOKYO センター長

堀江 美里氏

就労後は、採用した会社から合理的配慮をしているかどうか伝えることになっている。本人に合ったマニュアル作りや勤務時間、過集中のときに休憩をいれるといった配慮がとられている。また、職場での人間関係作りについてすれ違いがたまらないうちに対応するといった配慮をしている。

《福祉》 特定非営利活動法人 UCHI グループホーム『うち』所長

牧野 賢一氏

社会の障壁を取り除くためには、まず、地域に住んでいる人と出会うことが大事で、トラブルとは社会の現実を知ること、解決には互いを理解することが必要だ。また、他者との関係のなかで表現することがなかつたり、表現することを支援する人がいなかつたりという「関係障害」をなくすことが「差別」をなくすことにつながる。

《地域》 千葉県手をつなぐ育成会権利擁護委員会委員長

村山 園氏

知的障害を理解してもらえよう知的障害疑似体験を行っている。障害のある本人と地域とのつながり（知り合うこと）ができる。また、冊子『知ってほしい・知っておきたいー知的障害と「警察」』を使って警察官に説明したり、本人を紹介したりしながら、つながりを持つようにしている。



最後に、野澤氏より、「社会を良いものにしていかないと、本当の意味で幸せになれないのではないか。」というお話があり、皆で、障害のある人への理解を進めていかななくてはと思いました。障害のある人と地域をつなげるヒントがたくさん詰まったセミナーでした。（仁尾 智都子）

## 川崎市議会議員団との懇談会



副会長 美和 とよみ

平成29年度予算要望に向けて、川崎市議会議員団との懇談会が始まりました。7月11日（月）に民主みらい、7月14日（木）に公明党と行いました。共産党と自民党は183号で報告します。

結城会長の施策要望に続き、重点要望についてそれぞれの担当者から説明しました。

グループホームや短期入所施設の拡充・重度障害者医療費助成の維持・災害時の一次避難場所の運営など、多くのことについて意見交換をしました。地域包括ケアシステムについては、4月に始まったばかりなので、それぞれの区の活動を見据えながらみんなで作り上げていくことが大切です、これからも意見交換しながらより良い制度にしていましましょう、とのことでした。



## 第1回「あんしんノート」書き方講習会

5月20日（金）に、地域福祉施設「ちどり」で、「あんしんノート」書き方講習会を開催しました。14名の方が参加してくださいました。今年度から、各回、テーマを決めて、話をするようになりました。今回は、『将来について話しましょう』というテーマを掲げたところ、グループホームのことが話題の中心となりました。また、知的障害者を理解してもらうための『知的障害疑似体験』も行いました。皆さんに、「リンゴ」、「ボール」、「ちょっと」、「きちんと」を絵に描いてもらいましたが、「ちょっと」、「きちんと」のような目に見えない言葉を絵にするときには、参加者一同、苦勞しながら、同時に、もどかしい気持ちになりました。



次回は、9月8日（木）10時30分～12時、地域福祉施設「ちどり」1階会議室です。テーマは、『災害について考えてみよう』、知的障害疑似体験は、ペットボトルを使っての視覚の体験です。ぜひ、ご参加ください。お待ちしております。（権利擁護委員会）



## 自由投稿

～ 「地域とのつながり」を思う ～

中原支部 吉野 明美

私の居る中原区では、毎年「年末たすけあい運動」に寄せられる寄附金を、中原区社会福祉協議会から「見舞金」として、配布されています。見舞金を頂くという目的以上に、配布の際に地域の担当民生委員の方との繋がりを作り、顔見知りになるメリットへの期待が大きいので毎年申請しています。区によっては、「慰問金」・「支援金」と名称は異なりますが同じ活動のようです。例年は10月1日～10月31日が申請期間となります。防災の視点からも地域と繋がりましょう。





## 支部通信

### 川崎三支部合同バス旅行

田島支部 安達 ゆかり

5月28日(土)中央・大師・田島支部で、「富士山レーダードーム」「西湖いやしの里」方面へ川崎市役所前から出発しました。バスの中では、ビンゴゲームやカラオケを楽しみ、ガイドさんの楽しく詳しい話に、笑い声がたえず聞こえていました。

ドームでは、富士山頂のマイナス8℃、風速13メートルを体験し、測候所の歴史も知ることができました。富士山の湧水が駐車場横にあり、冷たくおいしい水で喉をうるおしました。



昼食後、「西湖いやしの里」に向かい、昔懐かしい里山を散策しました。風が涼しく、竹細工づくりをみたり、五穀米のおだんごを食べたりしながら、うっすら顔を出している富士山を眺めました。



帰りは事故渋滞で、到着時間を大きく超えてしまいましたが、無事に帰って来ました。解散時には、「またね」の声が行き交っていたので、ほっとした瞬間となりました。

### おしゃべり多摩5月・7月

多摩支部 美和 とよみ

5月26日(木)は、参加者5名で、今後の暮らしについて、「ずーっと今の家に住みたいと言っている」との話がありました。障害の重さに関係なく、このような方も多いのではないのでしょうか。「ヘルパーさんを利用して、見守り支援があれば…」

7月7日(木)は、「早く帰らなければいけないの」と来てくださった方もあり、6名の参加でした。あんしんノートの書き方についてお話しました。参加者の「施設の書類、役所関係、医療関係など、それぞれのファイルを作って保存している」との話にみんなで拍手を送りました。

毎回、家のことや子どものことなど、いろいろな話が出て、内容の濃い楽しい時間になります。

次回は9月23日(金)です。



### 第16回 多摩ふれあいまつり

多摩支部 神田 明子



6月19日(日)多摩区総合庁舎にて「わたしとあなたとこの街と」をテーマに開催されました。当日は障害のある人やボランティアの団体・グループが地域での普段の活動紹介や展示販売、ワークショップなどいろいろな企画がありました。私も親の会の活動紹介の合間に、子どもと一緒に簡単な手話に挑戦し、ユニバーサルデザインのすてきな洋服に見とれ、スタンプラリーにも参加、8か所のラリーポイントで忍者(!)とクイズやゲームに挑戦しました。2階大ホールの歌って踊って楽しんでというコンサートでは仲間の演奏に声援を送り、飛び入り参加でステージに上がり一緒に踊り、とても楽しい時間をすごしました。



## 高津わいわい茶話会

高津支部 三浦 ルイ子



6月14日(火)高津わいわい茶話会を行いました。参加者は14名でした。自己紹介しながら、参加者の子どもの自宅、グループホーム、入所施設での生活の様子、またいろいろな問題について意見交換をしました。賑やかにおしゃべりをしてあっという間に終わりの時間になりました。

最後に、11月10日(木)高津支部研修会「知って備えよう！知的障害のある人の防災」のお知らせをしました。多くの参加をお願いします。

## 平成28年度支援学校支部年間行事予定

### 【中央支援学校】

- 9月17日(土) 第5回きらめき祭(運動会)
- 11月26日(土) 中央支援まつり(バザー)
- 1月27日(金) さくら祭(文化祭)
- 28日(土) //
- 3月10日(金) 高等部卒業式
- 16日(木) 中学部卒業式



### 【田島支援学校】

- 8月22日(月) PTA納涼会
- 10月22日(土) 学習発表会桜校(小・中)
- 11月3日(木) 学習発表会本校(高)
- 1月21日(土) 作品展バザー
- 3月13日(月) } 本校卒業式(未定)
- 14日(火) }
- 3月16日(木) 桜校卒業式(小・中)



賛助会費、ご寄附誠にありがとうございました (順不同・敬称略)

滝本 美津江	高津区久末	5,000円	近藤 泰光	川崎区川中島	5,000円
関 公子	中原区上小田中	5,000円	匿名	中原区小杉御殿町	3,000円
池田 信哉	中原区西加瀬	3,000円	石塚 直美	中原区新丸子	5,000円
石塚 千恵子	高津区蟹ヶ谷	5,000円	中村 正男	川崎区浅田	5,000円
結城 隆	川崎区藤崎	10,000円	大塚 千春	幸区幸町	2,400円
岩本 孝司	高津区子母口	3,000円	早坂 法子	中原区木月住吉町	3,000円
川村 ふじ江	幸区南加瀬	3,000円	小川 信子	宮前区野川	3,000円
鈴木 妙子	中原区市ノ坪	2,600円			

\*1,000円以上の方を記載しています。



『手をつなぐ』を購読しませんか！



全国手をつなぐ育成会連合会の機関紙『手をつなぐ』は、知的障害のあるひとの暮らしに役立つ情報が満載です。身近な問題から福祉施策の最新情報などを年間3,800円で毎月お届けします。購読のお申し込みは、各支部役員までご連絡ください。

## 第3回手をつなぐ育成会連合会全国大会神奈川大会 分科会

### 第1分科会 大切な命を授かって生まれる

～家族支援と本人支援のバランスを考える～

#### 【基調講演】親の幸せ・子どもの幸せ

明星大学人文学部福祉実践学科教授 吉川 かおり 氏

障害があることで特別な配慮が必要なのは確かですが、その子の可能性を信じ豊かな生活体験をさせることで、生活スキルは向上し心も育ちます。それによって子どもは自信を持ち、他者から認められたい・役に立ちたいといった生きる価値を見出せます。親は子とは別の人格なので、成長の段階によりアイデンティティの再構築を図ることが大切です。

#### 【シンポジウム】家族支援と本人支援

親や本人にとって安心・安全な環境をつくるために、相談機関の充実とわかりやすい情報提供は不可欠な支援です。本人が「自分は自分であっていい」・「自分には価値がある」と思えるような生活体験ができるよう支援して、親だからと一人で頑張らず、支援者と共に見守り、チームの一員だと思えることが大切です。

(吉野 明美)



### 第2分科会 インクルーシブな社会で育つ

～権利条約から読みとく教育・社会参加～

コーディネーターに又村あおい氏、シンポジストは、就学から就労までの各ステージの現場に関わりの深い菊地一文氏、田中みか氏、久保寺一男氏、藤尾健二氏の4名でした。

障害者権利条約では教育の重要性に重きを置いていますが、育成会活動の原点も「教育」でした。インクルーシブ教育は、すべての子どもたちが、社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力や態度を身に付け、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現することを目指しています。さらに、インクルーシブな社会を実現するためには、とりわけ就労においてもインクルーシブが求められます。「キャリア発達」や「みんなの教室」「障害者就業・生活支援センター」など、耳慣れない言葉が取り上げられていましたが、他の自治体の取り組みを参考に、川崎でも「インクルーシブ社会」の実現を推進できたらと思いました。

(高山 君子)



### 第3分科会 自分らしさを発揮して生きる ～可能性を引き出す支援の実践～



まず、NPO 法人スタジオクーカ施設長 関根幹司氏の当事者のやりたいことを仕事にと考えたがそこにたどり着くまで時間がかかったという話を。次に、NPO 法人 UCHI 所長 牧野賢一氏のグループホーム利用者さんの名刺配りを支援するエピソードを、最後に、かしわ哲氏がボランティア活動であった音楽を業務とするため NPO 法人ハイテンションを立ち上げたという話を伺いました。共通していたことは、「問題行動として

否定せず、肯定的な眼差しで見ること」でした。コーディネーターの『たちほどがや』所長武井光氏の「笑顔を大切にしていける支援を目指している」、青山学院女子短期大学教授杉田穂子氏の「私たちはこれからも知的障害者の息づかいを感じながら支援をつなげていきたい。」との締めくくりから、本人主体の支援の大事さを感じました。

(神田 明子)

## 第4分科会 「成人後の人生を自立的に暮らす」

～制度を利用する際の意味決定支援のあり方～

### 【基調講演】

上智大学総合人間科学部社会福祉学科教授 大塚 晃 氏

本年4月より「障害者差別解消法」が施行されています。21年間働いていた障害者支援施設での経験や息子さんの事例を交えて障害を理由とする差別の禁止と個々の障害者への合理的配慮、障害者の意思決定についてお話されました。障害者から社会的障壁の除去を必要という意思の表明があった場合において合理的配慮を行い、意思表示の困難な場合には、家族や支援者・介助者・法的代理人等が障害者本人を補佐して行うとのことです。

### 【シンポジウム】知的障害者のパーソナルアシスタンスの可能性

鈴木 良氏（琉球大学法文学部人間科学科 准教授）から、知的障害者のパーソナルアシスタンスの可能性についての話や、入所施設とGHとの自己決定に対する違いについて話を伺いました。また、村上和子氏（大分県手をつなぐ育成会副理事長）からは、ご自身が地元で立ち上げ運営している就労支援事業所で感じている「まちで働く」「まちで暮らす」という視点から、障害のある方が最も必要としているサービスは、本人にわかりやすく情報を伝える意思疎通支援であること、また、親が高齢になり通院の支援なども困難になる中、通院介助のサービスが整っていないことなどのお話がありました。「意思を育てる」のはなかなか難しいので、小さな頃からのより多くの経験が大事であり、早くから意思を育てていくことの大切さを感じる分科会でした。

（三浦 ルイ子）



## 全国大会神奈川大会 本人大会 バスツアーに参加して

支援者 針木 正子



7月2日（土）、全国大会神奈川大会に「私たちの広場」のメンバー3名と支援者2名にて参加しました。当日は、真夏日になる暑さの中、受付会場となる神奈川県民ホールには全国からの大勢の本人、保護者をはじめ関係者、支援者が集まっておりました。

私たちは、本人大会のバスツアーに参加しました。バス7台に分乗し出発です。車窓からの異国情緒漂う洋館、外国人墓地。広がる海に浮かぶベイブリッジ。そして、多くの観光客でにぎわっている赤レンガ倉庫。横浜のシンボル、ランドマークタワー69階展望フロア見学と観光気分にはたり、横浜ファンのMさんは、小さく見える横浜スタジアムを上から見下ろし大感激な様子。他県の方たちからも歓声が上がり交流を深めました。

今回はプログラムにあった「ぶっちゃけトーク」「はたらくトーク」に参加もいいかな。「広場でもできるかな。」と自信はないけど少しだけ自分のことを話し、他の人のことも聞いてみようかなと興味が沸いてきた1日になったようです。



### ～ 関東甲信越大会川崎大会に向けて ～

副会長 美和 とよみ

全国大会神奈川大会に川崎市育成会から7月2日の分科会に23名、3日の全体会に18名が、参加しました。

30年の関東甲信越大会川崎大会に向けて、受付や案内の様子などを、みんなで確認しました。



## 第3回手をつなぐ育成会連合会全国大会神奈川大会

### 育成会大会・本人大会 合同全体会

—誕生した大切な命だから 一人ひとり充実した一生を！—



2日目の全体会は神奈川県民ホールの大ホールで盛大に行われました。

久保厚子会長からは今大会のテーマである『誕生した大切な命だから一人ひとり充実した一生を！』の通り、素晴らしい人生を歩ませてほしい。また、熊本地震で被災された方々の1日も早い復興を祈ると挨拶がありました。大会実行委員長の神奈川県手をつなぐ育成会依田雍子会長は、これからも障害福祉の動向に注視し続け、着実な育成会活動を進めたいと話されました。

神奈川県黒岩知事、横浜市長(代理)、厚生労働大臣(代理)、文部科学大臣(代理)他、国会議員やたくさんの来賓が出席されました。高木衆議院議員は障害者総合支援法3年後の見直しについて、国会での動向を熱くお話ししてくださいました。

それから全国の表彰者が紹介され、大きな拍手を送られました。

田中統括からの中央情勢報告は時間の都合で短いものになりました。育成会の活動としては大きな動きはありませんが、2020年の東京オリンピック・パラリンピックと同時に開催が予定されている「障害者の文化・芸術の祭典」に向けた活動にも、本人活動支援委員会や国際委員会と連携した対応を行う、とのことでした。

梅雨明け前の暑い2日間でしたが、それ以上に熱い思いを持った参加者が全国から集まった大会となりました。  
(梅田 順子)

## 記念講演 「よろこびを力に・・・」

元マラソン選手 有森 裕子 氏

皆様ご存じの通り、有森裕子氏は女子マラソンのオリンピックメダリストです。現在は、地雷で被害を受けたカンボジアの子どもたちに「義手や義足をつけ、走ることで、夢を持つきっかけになれば」と、ふれあい支援のためのNPO法人を設立したり、スペシャルオリンピックス日本理事長をされたりと、幅広くスポーツにかかわる活動をされています。



記念講演ではスペシャルオリンピックスのお話や有森氏のマラソンとの出会いのお話を伺うことができました。有森氏は幼児期に股関節脱臼をされ、小学校低学年まではスポーツをすることが苦手で、何にも自信が持てずにいたそうです。ところが、自分の長所を見出し信頼してくれる陸上部顧問の教諭に出会い、陸上部に入部。やがてマラソンの道を究めることとなったそうです。徒競走で一番後ろを走っていた少女が、オリンピックメダリストになったのは努力の賜物だと思います。けれど、それを成し得た最大の理由は、「参加する機会を得られたこと」と、有森氏は話されました。つい、障害を理由に子どもの可能性を开花させる機会を失ってしまっていたかもしれないと、自分を見つめ直しました。

“世の中にたった一人しかいない自分の生き方にこだわること”、“二度とやってこない一瞬一瞬を精一杯生きること”を信条としている有森氏の姿勢を見習って、子どもの将来にも希望を見出していけるといいなと思いました。  
(小西 真弓)

## 川崎スポーツの会（私たちの広場）

6月12日（日）川崎市立中央支援学校・体育館でスポーツ大会を行いました。参加者は「私たちの広場」と「優友会」の本人たちと支援者、指導者を含め17名でした。

種目は「私たちの広場」4月実行委員会で話し合った結果、昨年同様、バドミントンとティーボールになりました。



何年も続けているティーボールは、球にうまく当てることができてきて接戦となりました。また、バドミントンは、昨年に引き続きコーチに指導していただきました。皆さん、試合形式のゲームが行えるほど上達し、コーチも驚いていました。

楽しい時間を過ごしたからか、来年も指導してくださるようコーチに皆さんでお願いしていました。来年の試合が、今からとても楽しみです。（事務局）

### 平成28年度 今後の予定

- 8月14日（日） 第4回実行委員会
- 9月11日（日） 川崎スポーツの会／日帰りバス研修会
- 10月 9日（日） 第5回実行委員会
- 11月13日（日） 第6回実行委員会
- 12月11日（日） 勉強会／忘年会
- 1月 8日（日） 第7回実行委員会
- 2月12日（日） 料理教室  
てくのかわさき調理実習室（使用予定）  
調理実習室が取れた日を優先します。
- 3月12日（日） 第8回実行委員会・明るい新聞発行



私たちの広場は川崎市内の本人の会です。

私たちの広場とは、知的障害のある本人が話し合いながら、友だちをつくり、みんなと協力して勉強、スポーツ、新聞づくりなどをする会です。毎月第2日曜日に地域福祉施設「ちどり」10:00～12:00で開催しています。見学は自由です。

お問合せ、参加申込みは、ともかわさき事務局分室 電話 044-812-2966 までお願いします。

**2016年度版**

## 生活サポート総合補償制度

知的障害児者・自閉症児者のための AIUの普通傷害保険(知的障害者等福祉団体傷害保険特約、地震・火災・津波危険補償特約セット)

<b>被保険者</b> (補償の対象者) 知的障害児者または自閉症児者がご加入できます。	<b>補償期間</b> (保険のご契約期間) <b>2016年4月1日から</b> <b>1年間</b>	<b>掛金</b> 入院2日目から補償プランB/ 掛金… <b>23,000円</b> (保険料19,810円) 入院4日目から補償プランA/ 掛金… <b>17,000円</b> (保険料14,810円)
----------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

詳細は取扱代理店にお問い合わせいただくか、専用のパンフレットをご参照ください。また、ご契約に際しましては、事前に重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)を必ずお読みください。引受保険会社の損害保険専業人は、保険契約の締結の代理権を有しています。

**保険のお問合せはこちら**

取扱代理店 <b>株式会社 ジェイアイシー</b> 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビル2号館2F TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774 受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)	引受保険会社 <b>AIU損害保険株式会社 東京第二支店</b> 〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階 TEL: 03-6894-9110 http://www.aiu.co.jp 受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**ご加入のお問合せはこちら**  
**やまゆり知的障害児者生活サポート協会**  
 〒221-0844 神奈川県横浜市神奈川区元町4-2  
 神奈川福祉会館社内  
 TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426  
 受付時間: 午前9時～午後5時  
 (土・日・祝日・年末年始を除く)

(A-000628 2016-03)

平成28年度 川崎市育成会手をむすぶ親の会 支部代表者の紹介

支部名	氏名	住所	電話番号
中央支部	伊東 早苗	川崎区大島	222-2531
大師支部	近藤 節子	川崎区川中島	288-5023
田島支部	中村 恵美子	川崎区浅田	333-9929
幸支部	角田 三津子	幸区下平間	522-3128
中原支部	吉野 明美	中原区市ノ坪	433-7303
高津支部	太田 理佐	高津区新作	877-2134
宮前支部	梅田 順子	宮前区初山	975-7074
多摩支部	神田 明子	多摩区长尾	934-6428
麻生支部	黒瀬 晶子	麻生区片平	986-9869
田島支援学校支部	島田 可奈子	幸区鹿島田	533-9941
中央支援学校支部	宮脇 真理子	多摩区登戸	935-3563

平成28年度 川崎市育成会手をむすぶ親の会 委員の紹介

	運営	余暇活動	研修事業推進	広報	権利擁護
中央支部	伊東		伊東		阿部
大師支部	近藤	○近藤	加藤・齋藤	小西	山入端
田島支部	中村(恵)	安達・山本	中村(恵)	安達	
幸支部	角田	◎角田	高井・三浦(ひ)	○高山・仁尾	◎仁尾
中原支部	吉野	吉野	菅井	吉野	西澤
高津支部	太田	山田	◎太田	◎三浦(ル)	○森・三浦(ル)
宮前支部	梅田	岩見	梅田	梅田	梅田
多摩支部	神田		○神田	神田	○中村(多)
麻生支部	黒瀬	影山	○黒瀬・磯	篠原	篠原
田島支援学校支部	島田	◎は委員長、○は副委員長、委員長は運営(総務)委員会に出席します。			
中央支援学校支部	宮脇				

平成28年度 知的障害者相談員の紹介

何でも相談



区分	氏名	電話番号	FAX番号
川崎	伊東 早苗	222-2531	222-2531
大師	結城 眞知子	299-3089	299-3089
田島	中村 恵美子	333-9929	333-4589
幸	仁尾 智都子	533-7460	533-7460
中原	吉野 明美	433-7303	433-7303
高津	山田 勝子	811-9221	811-9221
宮前	宮澤 明	933-4013	933-4013
多摩	美和 とよみ	922-3015	922-3015
麻生	宮本 善夫	966-0788	966-0788
自閉症	明石 洋子	366-6002	366-6002
自閉症	小泉 佳世	987-5022	987-5022
自閉症	齋藤 悦子	299-2887	299-2887



川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告  
 《平成28年4月19日～平成28年7月19日まで》

<各種会議、行事>

4月19日(火)	第1回権利擁護委員会	地域福祉施設「ちどり」
5月10日(火)	第1回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
5月12日(木)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
5月17日(火)	第2回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
5月24日(火)	第1回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
6月2日(木)	平成28年度定時総会	地域福祉施設「ちどり」
6月6日(月)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
6月13日(月)	第2回研修事業推進委員会	地域福祉施設「ちどり」
6月20日(月)	第3回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
6月25日(土)	平成28年心身障害児者福祉大会	総合自治会館
6月28日(火)	第2回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
7月2日(土)	第3回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会	神奈川県民ホール
3日(日)	神奈川大会(併催 第50回関東甲信越大会)	
7月5日(火)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
7月6日(水)	第2回権利擁護委員会	地域福祉施設「ちどり」
7月11日(月)	民主みらい党川崎市議団との意見交換会	市役所第2庁舎
7月14日(木)	公明党川崎市議団との政策懇談会	市役所第2庁舎
7月19日(火)	第4回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」

<対外行事>

4月23日(土)	(社福)ともかわさき全体研修会	地域福祉施設「ちどり」
4月27日(水)	第4回権利擁護セミナー(全育連)	大田区産業プラザP I O
4月28日(木)	関東甲信越ブロック代表者会議	ルノアール貸会議室八重洲北口
5月11日(水)	あやめ会平成28年度会総会	エポックなかはら
5月13日(金)	かわしんふれあい市場	川崎信用金庫本店
5月19日(木)	市社協第6種会員会議	エポックなかはら
5月20日(金)	やまゆり生活サポート協会理事会	かながわ県民センター
5月25日(水)	川崎市福祉有償運送運営協議会	ソリッドスクエア
5月26日(木)	(社福)ともかわさき評議員会	地域福祉施設「ちどり」
	(社福)川崎市社会福祉事業団評議員会	法人事務局会議室
5月27日(金)	やまゆり生活サポート協会総会	かながわ県民センター
5月31日(火)	(社福)ともかわさき理事会	地域福祉施設「ちどり」
6月21日(火)	2016年度全国手をつなぐ育成会連合会定時総会	フクラシア品川
7月3日(日)	平成28年度身体障害者福祉大会	産業振興会館
7月19日(火)	川崎市社会福祉協議会評議員会	エポックなかはら

平成28年度川崎市障害者作品展出品募集

主 催 川崎市 ・ 川崎市障害者社会参加推進センター  
 公益財団法人川崎市身体障害者協会・公益財団法人川崎市文化財団(予定)

会 場 川崎市アートガーデンかわさき 第1展示室

展示期日 平成28年12月21日(水)～12月25日(日)

応募資格 原則として市内在住・在勤・在学の障害児者

出品物等 当作品展に出展したことの無いもの  
 1部門につき1人1点(絵画、写真、書、手工芸、俳句・短歌、等)  
 規格や申込み方法など、詳しい要綱につきましては後日お知らせします。



## 第39回 かわしん ふれあい市場

5月13日(金)さわやかな晴天の中、かわしん本店1Fロビーにて、「ふれあい市場」が行なわれました。開始からすぐ、たくさんのお客様が来場し、思い思いに並んだ品を手にとっていました。



手織り、ビーズ、布の作品、クッキーや菓子パンなど心惹かれる品が並び、売り手の利用者さんたちは、生き生きとした笑顔で接客していました。



笑顔が溢れるこの雰囲気は、毎回、心が温まり、つついお財布のひもが緩みます。次回の開催は10月14日(金)の予定となりますので、よろしくお願いいたします。  
(安達 ゆかり)

### 編集後記

元来、文章を書く事は好きなのですが、このような大きな広報紙に文章が掲載されると思うとなかなか筆が進みません。広報委員、みな同じ気持ちなのではとは思いつつバックナンバーを開き、どのような形をとろうか、個人的なことをどこまで書いて良いものかといろいろと試行錯誤をしながら書いています。さて、この182号はいつもよりページ数が多くなっております。「全国手をつなぐ育成会連合会・全国大会神奈川大会」が7月初旬に行われ、その内容もいち早くお伝えしたいとの思いから紙面を増やしました。いろいろな情報をわかりやすくお伝えできるよう、広報委員の力を結集して作成いたしました。



広報委員 神田 明子

### 【もくじ】

- P. 1... 結城会長あいさつ／ホームページ
- P. 2... 第4回総会報告／平成28年度川崎市への要望／緑陰訓練お知らせ
- P. 3... 福祉大会大会宣言
- P. 4... 福祉大会市長祝辞
- P. 5... 福祉大会実行委員長あいさつ／福祉大会第二部講演会
- P. 6... 第4回権利擁護セミナー(大田区)に参加して
- P. 7... 川崎市議会議員団との懇談会／あんしんノート書き方講習会／自由投稿
- P. 8... 支部通信
- P. 9... 支部通信／賛助会費／手をつなぐ購読のお知らせ
- P. 10... 全育連全国大会神奈川大会 第1分科会／第2分科会／第3分科会
- P. 11... 第4分科会／本人大会／関東甲信越大会川崎大会に向けて
- P. 12... 育成会大会・本人大会 合同全体会 大会式典／記念講演
- P. 13... 私たちの広場／やまゆり知的障害児者生活サポート協会広告
- P. 14... 支部代表者の紹介／委員の紹介／知的障害者相談員の紹介
- P. 15... 活動報告／川崎市障害者作品展出品募集
- P. 16... かわしん ふれあい市場／編集後記／もくじ

発行責任者 川崎市育成会手をむすぶ親の会 会長 結城 眞知子  
〒213-0011 川崎市高津区久本3-6-22 地域福祉施設「ちどり」  
TEL: 044-812-2966 FAX: 044-813-1216 <http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki>